

【担当地域】  
上町屋、常盤、笛田、  
梶原（1-5丁目をのぞく）  
寺分（1-3丁目をのぞく）

【発行責任者】  
長優子  
0467-62-0666

## 【地域包括支援センターは 在宅高齢者の身近な相談窓口です】

「地域包括支援センターみどりの園鎌倉」は、  
2016年8月にスタートし今年で10年を迎えます。  
これも地域の皆さまのご理解とご協力のおかげと、  
ひとえに感謝申し上げます。

地域包括支援センターは、2005年4月からの介護保険  
制度の見直しに伴い、設置が定められました。  
住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続  
けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生  
活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構  
築の中心的役割を果たすことが求められています。

そのため、医療・介護・  
福祉の専門職である保健  
師（看護師）、社会福祉  
士、主任ケアマネジャー  
の資格を持った職員を配  
置し、それぞれの専門性  
を活かしながら連携を  
図って、高齢に関する相  
談に対応しています。

鎌倉市から委託を受けて  
いる公的な相談機関です。  
秘密厳守の上、相談支援に  
あたりまますので、どうぞ気  
軽にご相談ください。



## 【インフルエンザに注意】



2025年のインフルエンザは例年よりずっと早く9月  
下旬には流行シーズン入りが確認されました（厚生労  
働省発表）。

通常、日本のインフルエンザ流行は11月下旬から  
12月上旬に始まるが多いため、約2ヶ月も早く流  
行り始めました。予防接種が遅れたこと、海外の方の  
往来が活発になったことでウイルスが持ち込まれたこ  
となどの影響が考えられるそうです。

鎌倉市の冬場は晴れる日が多く、とても空気が乾  
燥します。うがい・手洗いなどの基本を守って新年  
もインフルエンザに注意しましょう！





## 【地域の話】

### ● 防災訓練

11月1日は深沢小学校で行われた防災訓練に参加しました。前夜の雨が嘘のように快晴。300名以上の方が参加されました。

今年は初めて地域の介護サービス事業所の方がスタッフに加わり、車いす・高齢者体験コーナーを担当。参加した施設職員の方から「災害はいつ起こるかかわからない。自分たちも職場のある地域を知り、何ができるのか考えるきっかけになった」と聞きました。地域で働く人たちも防災を一緒に考えていくことが必要だなと思いました。



上：おもりを付けたり眼鏡をかけたりして高齢者体験



右：施設やデイサービス、ケアマネジャー、福祉用具など11か所の事業所18名が参加



## みんなのギャラリー

地域の皆さまの作品をご紹介します



上：笛田・今村さん  
刺繍



右：笛田・吉川さん  
水彩画、押絵



皆さまの素敵な作品をお寄せください

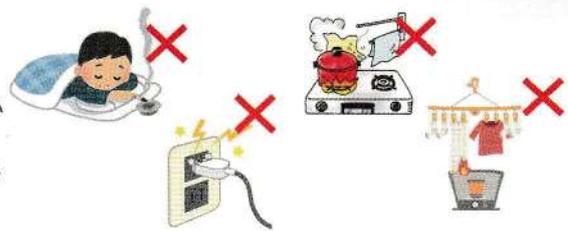
## 【火の用心と日頃の声掛け】

冬は空気が乾燥し、家事が最も多い季節です。まずは、日頃からの「火の用心」、次の4つを習慣づけましょう。

また、いざ火災が起こってしまったときに、「ご近所の日頃の声掛けが多く命を救った」とニュースで耳にしました。顔の見える関係づくりを日頃から大事にしたいものですね。

### 火の用心4つの習慣

1. 寝たばこは絶対にしない、させない
2. ストープの周りに燃えやすいものを置かない
3. こんろを使うときは火のそばを離れない
4. コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く



## 【地域包括支援センター みどりの園鎌倉】

地域包括支援センターでは、高齢者の方々に関する不安やご相談に対応することで、地域の皆様の心身の健康・生活の安定に必要なご支援を行います。お気軽にご相談ください。

### 【ご相談受付時間】

月曜日から土曜日(祝日と年末年始をのぞく)  
 8時30分～17時00分

電話：0467-62-0666

(緊急時はいつでも電話対応可能です)



住所；鎌倉市常盤165-8  
 (県道藤沢鎌倉線、バス停「深沢小学校前」前)